

①聴覚障害教育センターだより

2019年10月

富山県立高岡聴覚総合支援学校

高く澄んだ空、さわやかな秋風に乗って、金木犀の甘い香りが感じられる今日この頃、大きく深呼吸したくなるような気持ちの良い季節となりました。本年度も半年が過ぎ、予定していた学校説明会、学校見学会、「きこえ」と「ことば」の研修会、体験入学等の各種行事を実施しました。参加、ご協力、ありがとうございました。



<「きこえ」と「ことば」の研修会>

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に在籍する聴覚障害児を担当している教員、及び関係機関担当者に対して、聴覚障害及び聴覚障害教育についての情報を提供します。



第1回：6月4日（火） 「聴覚障害児教育の基礎知識」

○内 容：授業参観、講義（耳と聞こえの仕組み、オーディオグラムの見方など）
演習（語音検査体験、補聴器装用体験、ロジャーシステムの使い方など）

○寄せられた感想

- ・体験では難聴のお子さんのストレスを感じることができました。今まで配慮に欠けた環境を強いてきたことに気付きました。
- ・ロジャーシステムでのイヤホンから聞こえる声が明瞭で、常に使ってあげるべきだと感じました。また、雑音のある状態がいかに辛い分かりました。
- ・授業参観では先生方の話し方や声の掛け方が大変参考になりました。音を聞き取りやすい、理解しやすい環境作りは、どの子にも優しい援助だと思います。

第2回：8月1日（木） 「発音・発語指導の基礎知識」

○内 容：講義（発音・発語指導のポイント、指導の系統など）
演習（舌・声・息、母音、半母音、子音の誘導など）

○寄せられた感想

- ・実技が多くとても分かりやすく参考になりました。リラックスしつつ快の経験を大切に、指導に当たっていきたいと思います。
- ・いろいろな部位が密接に関連しあって声が出ていることを感じました。視覚を通しての指導で、より効果が得られることを知ることができて良かったです。
- ・質問の時間に、これでいいのか・と悩んでいること、困っていること等に端的に答えていただけありがたかったです。
- ・紹介していただいたサイトにアクセスしてのタブレットを用いた実技は、楽しかったです。活用しやすいそうなので、参考になりました。



書籍紹介

難聴児・生徒理解ハンドブック

～通常の学級で教える先生へ～

白井一夫・小綱輝夫・佐藤弥生 編著

B5版 1,500円+税 学苑社



3人の著者が実際に支援をしてきた経験をもとに、難聴のある児童生徒への支援の実際を整理されています。「見えにくい」と言われる難聴の子どもが抱えるさまざまな問題を、30の項目といくつかのトピックで分かりやすく簡潔に説明してあります。難聴の子どもたちと関わる方々に幅広く読んでもらえる本です。

補聴器の点検をしていますか？

今年は猛暑でしたね。夏場は汗をかくので補聴器の故障が多くなります。電池ケース内部にサビが出ると、音が途切れたり音が出なくなったりします。少なくとも年に1度は、専門店で点検してもらいましょう。



<お知らせ>

「学習発表会」聴力測定コーナー

11月2日(土) 学習発表会 聴力測定コーナー

13:00～14:00

☆学習発表会にお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。
どなたでも聴力測定できます。



耳の相談日



12月11日(水)

13:30～14:30

☆耳や聞こえのことについて本校の耳鼻科の校医に相談することができます。
どなたでも参加できます。事前に連絡していただき、ご来校ください。



【問い合わせ先】

富山県立高岡聴覚総合支援学校 教育相談室 (聴覚障害教育センター) 岩本
〒933-0824 高岡市西藤平蔵700番地

Tel 0766-63-6385 FAX 0766-63-5884

E-mail takaokachokaku@ed.pref.toyama.jp